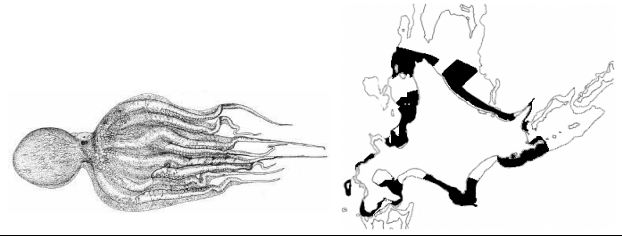


# 41.ミズダコ

## 北海道周辺海域

**主な漁業と漁期**  
たこ箱、空釣り縄、  
いさり樽流し、たこかご、  
たこ磯漁など：周年



### 生態

#### ◆分布・回遊

水深200m以浅の大陸棚上に生息し、岩礁域に多く分布します。季節的な深浅移動をします。北海道周辺のミズダコ資源は、漁獲傾向の類似性から11の海域に分けられ、これに基づいて資源状況が評価されています。

#### ◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期は宗谷海峡では6～7月です。交接の盛期は産卵の前年の10～12月です。
- ◎天然の産卵場は、知床半島沿岸で水深7～43mとの記録があり、その他に水深35～73mの漁具などに産卵した記録があります。

#### ◆成長・成熟

(12月時点)

	体重	
	未成熟	成熟
1歳	40g	
2歳	1kg	
3歳	1～10kg	7kg以上
4歳	4～12kg	7kg以上

\* ) 体重：1歳は大久保(1980)、2歳は三橋(2003)、3歳以上は2003～2004年の漁獲物と1960～1997年の調査標本の測定結果  
\* ) 加齢の基準日：1月1日

#### ◎成熟年齢・体重

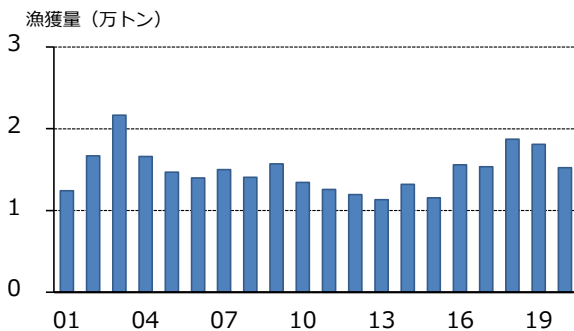
- ・概ね雌雄ともに最小成熟体重は10kg、2-4歳で成熟します。
- ・繁殖活動は一生に一度です。

### 資源評価

[評価年] 1月～12月

[資源水準の指標] CPUE、漁獲量

2020年度の漁獲量は約1.5万トンで、前年から減少しました。2020年度の資源水準は11海域中7海域で中水準以上で、残りの海域では低水準と判断されており、北海道全域としての資源水準は中水準で、翌年にかけての資源動向は不明と判断されました。概ね妥当な資源利用状況にあると思われませんが、噴火湾口から奥尻島にかけての道南の海域においては漁獲量が低水準となっており、資源状態の把握が必要です。



2020年度  
の水準



中水準

2021年度  
の動向

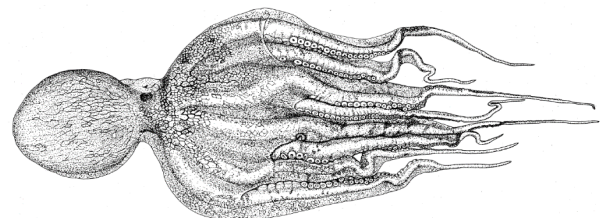


不明

### 資源の維持・増大のために！

#### 資源管理の現状(主なもの)

多くの地域で漁業権行使規則や協議会等の取り決め等により、1.5～3 kgの重量制限を行っています。



☆効果的な資源管理のために知見の蓄積を図るとともに、現状の取り組みを継続する必要があります。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 稚内水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477  
電話 0162-32-7166